

コーポレートITの為の

SMP

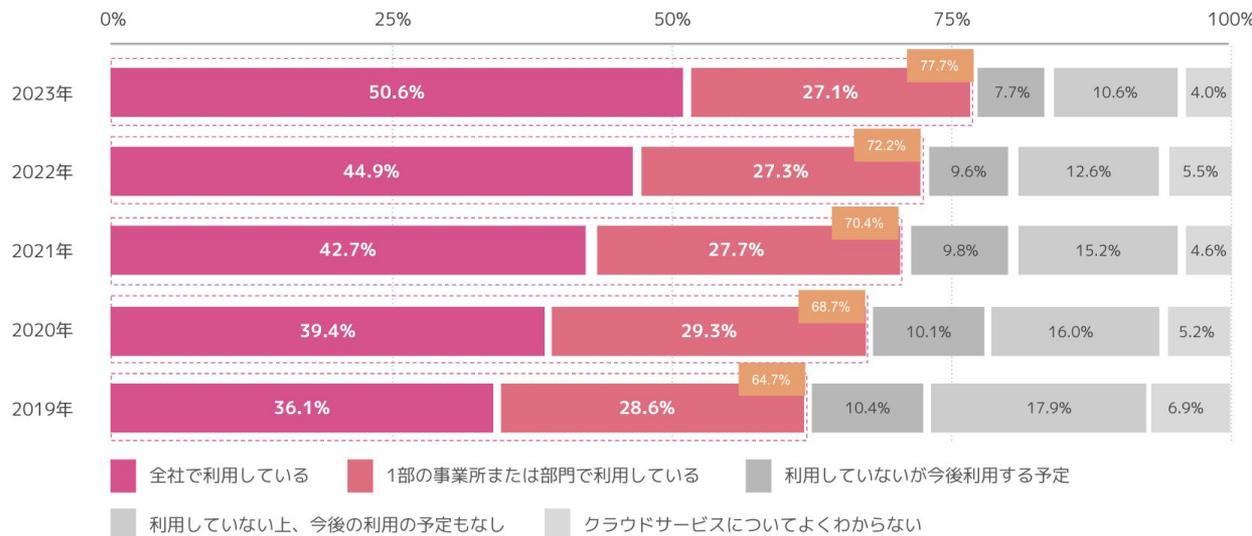
SaaS Management Platform

入門ガイド

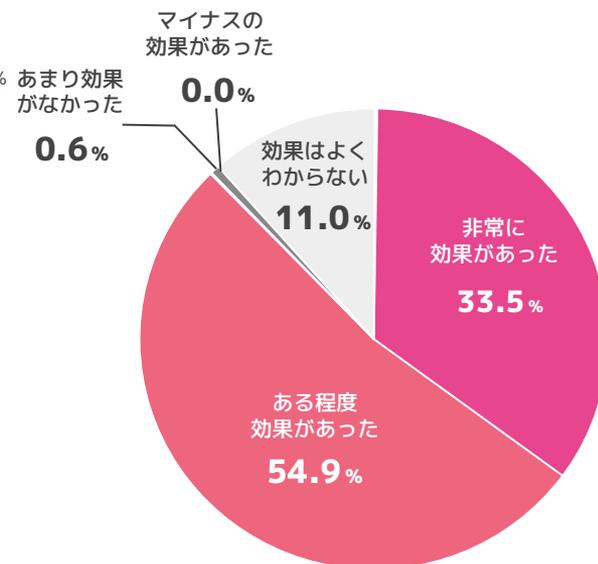
SaaS利用拡大とSMP

クラウドサービスの利用は年々拡大
利用している企業の割合は8割弱、効果を実感している割合は9割弱にのぼる

企業におけるクラウドサービスの利用状況



企業におけるクラウドサービスの利用の効果



SaaS(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)は以下の理由により利用が加速している

① 導入の手軽さ

オンプレミス型と違い、サーバなどのハードウェアの調達やコンパクトディスクによるインストール作業などが発生しません。

インターネットを経由し、瞬時に利用を開始することが可能です。

② 解約の容易さ

ほとんどのSaaSは大幅なイニシャルコストは発生せず、**ランニングベースでの月額ユーザ課金方式が一般的**です。

多くは無料トライアルが可能で、自社に合わないと判断された際はすぐに解約することが可能です。

③ 専門性の排除

従来のソフトウェアの導入では、情報システムスペシャリストによる企画、選定、導入、運用、トレーニングといったサイクルが一般的でしたが、**SaaSはユーザフレンドリーなインターフェースで稼働し、誰でも利用可能なような設計がされています。**

④ 低価格な費用

システム導入は企業規模にもよりますが、一般的に数千万以上の費用と長い計画時間を経て、導入するものだと思われていました。

SaaSでは1IDあたり数百円で利用されるものが多く、比較的安価に利用することが可能です。

⑤ 拡張/バックアップの懸念の無さ

利用数やトラフィックの増加への計画対応を必要とせず、**SaaSベンダー側での拡張や多重化が行われます。**

SMP (SaaS Management Platform) とは
企業が利用するSaaSを一元管理および効率的な運用を可能にするソフトウェア

▽ ITアドバイザー企業のガートナー社は、SMPには以下3つの主要な機能があると述べている

1

SaaSの検出

SaaSの情報を追跡

▽以下のソースを使用

- ・ SaaS API
- ・ ネットワーク機器
- ・ ブラウザ拡張機能

また、SaaSを利用するユーザーの
アクティビティに関する情報も集計

2

SaaSの管理

SaaSの管理業務を一元化

▽以下のITタスクがシンプルに

- ・ アカウント発行
- ・ ユーザーの入退職時の処理
- ・ ライセンス管理
- ・ 部署のグルーピング

3

セキュリティ

SaaSのコントロールセンター

▽以下のセキュリティ設定を一元化

- ・ アカウントに付与された権限情報
- ・ データの保護
- ・ アクセスのコントロール

SMPが必要とされる理由

SaaS管理が徹底できていない

- ✓ 事業部や部署で利用しているSaaSについては、そもそも管理が徹底できていない
- ✓ IPOやISMS構築のために利用SaaSの継続的な管理が必要だができていない
- ✓ Excelで管理しているが棚卸しの度に人的コストが都度発生している

セキュリティの懸念

- ✓ 事業部や部署管理でのSaaSについて、退職者アカウントが削除されず、残り続けている
- ✓ 退職者アカウントからの情報漏洩を発生させたくない
- ✓ シャドーITが検知できないためセキュリティ情報漏洩のリスクがある

IdP/iDaaSのみで管理が難しい

- ✓ 利用中のSaaSがSAMLに対応しておらず、個別で管理が必要になっている
- ✓ 利用中のSaaSはSAMLに対応しているが、コストが高くなるプランのため利用できていない

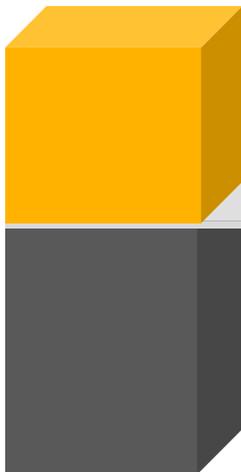
CASBのみで管理が難しい

- ✓ 社内で利用しているSaaSのアカウント棚卸しには向いていない
- ✓ そもそも大きな費用投資が難しい

様々なSaaS管理の課題の中でも「利用状況の可視化」が重要

「何のSaaSが利用されているか」「誰がどのSaaSを利用しているのか」を正確に把握し、適切なアカウント運用やセキュリティ対策、コスト最適化を実行する

利用SaaS



情シスが把握(承認)しているSaaS

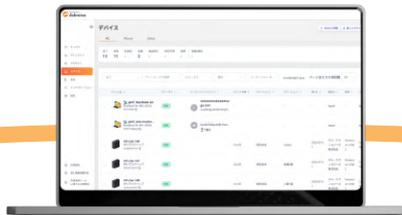
- 情シスが主幹となり、従業員に配布しているSaaS
- 部門利用の場合、ワークフローなどで情シスの承認を得て利用しているSaaS

情シスが把握していないところで現場が利用しているSaaS

- 情シスの承認を得ずに、現場判断で利用しているSaaS
- 外部企業の環境下で、招待を受けて利用しているSaaS
- トライアルなど、無課金で利用しているSaaS

SaaS Management Platform マネーフォワード Adminaとは

従業員が利用するSaaS/デバイスを一元管理し
管理業務の効率化/セキュリティ強化/コスト削減を実現



管理業務の効率化

セキュリティの強化

コスト削減

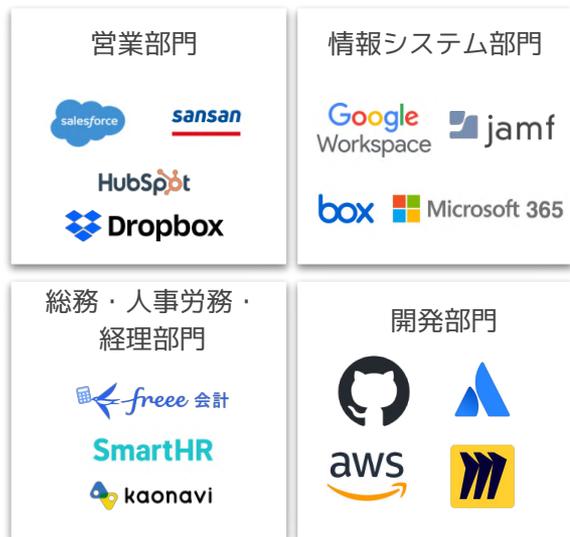
- ✓従業員/SaaS/デバイス台帳を統合
- ✓SaaS台帳の自動作成
- ✓SaaSアカウントの発行/削除

- ✓退職アカウントを自動検知
- ✓シャドーIT検知
- ✓公開/外部共有ファイルを検知

- ✓未利用アカウントを自動検知
- ✓SaaSコストの可視化/自動レポート
- ✓契約台帳管理

部門利用のSaaSを推進し、企業成長のスピードを落とさずも
会社としてのセキュリティ対策/コスト最適化を実現

自部門のSaaSのみ把握・管理



それぞれが管理しつつも、全体像を把握



連携できるSaaSが多いからこそ、効率的かつ網羅的な管理が可能に



一部連携SaaS抜粋

< お客様の要望に対応してSaaSの連携開発も実行 >

Rentio



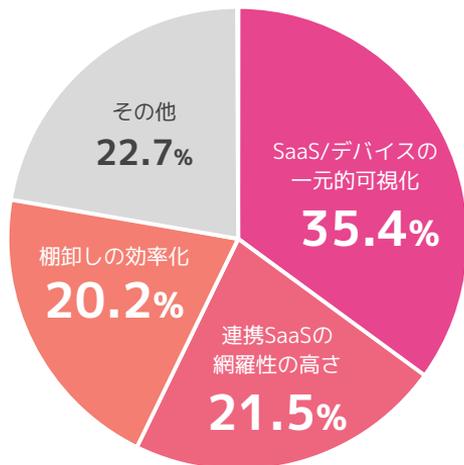
ご担当者様

弊社では以前から Kandji というMDM製品を運用しています。これは主に欧米向けの製品なのですが、近頃複数の代理店で取り扱いがスタートしており、これから日本でも流行りそうな予感がしています。

▶ 1ヶ月で連携の実装！

おかげさまで多くのユーザー様にAdminaをご利用いただいております
Adminaをみなさまが選ばれた理由を一部ご紹介

課題解決に最も役に立った Adminaの特徴



お客様の声 一部ご紹介

情報システムの視点から見ると、Adminaのようなツールの導入が、アカウント管理の効率化や上場企業に求められるIT統制に対応する手段となります。また、費用対効果の透明性向上も期待できます。Adminaを利用することで、企業の運用がより効率的になり、管理面での向上が見込まれます。

Adminaは、一言でいうと本当に使いやすいです！一元的な管理と退職アカウント、公開ファイルの管理はリスクマネジメントに直結します。コストと製品価値を考慮すると、Adminaは圧倒的な価値を提供します。また、今後のポートフォリオ拡充にも対応できる製品です。

アワード バッジ



SaaS管理で10期連続でLeader取得



Good Service 受賞



SaaS

UZABASE LayerX RevComm STORES IOX yappli MIXTEND
弁護士ドットコム smartround mi-6 ABEJA ULURU SHANON トヨクモ

人材

dip ONE CAREER Wantedly
LAPRAS LabBase PIECE to PEACE

サービス

OPEN HOUSE GROUP POLA ORBIS HOLDINGS
令和トラベル 山家

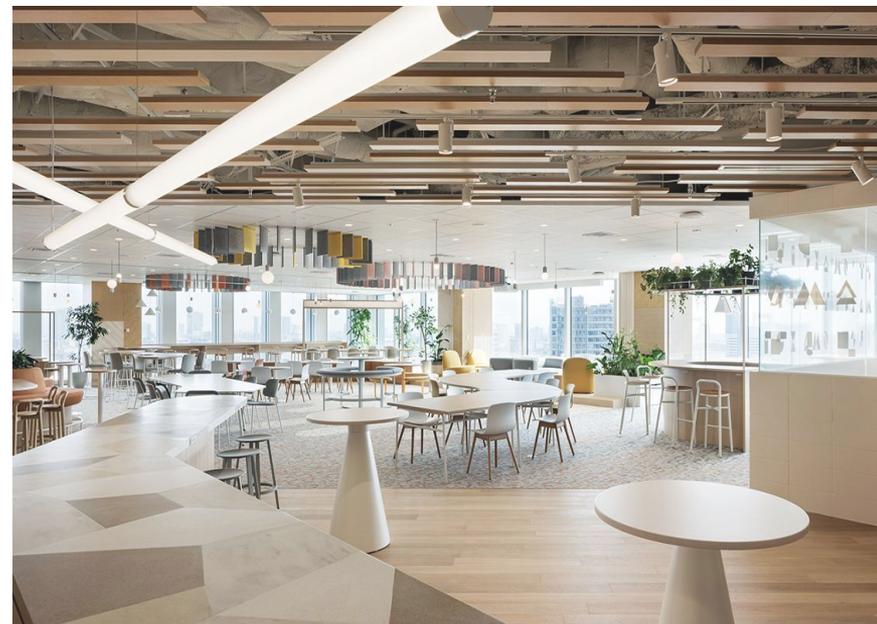
Webサービス

Makuake モノタロウ favy FLN
LIFEMARK note SHIMAUMA PRINT

開発

Sun* TECHORUS Spee
SonicGarden Serverworks

会社名	マネーフォワード i 株式会社
代表	今井 義人
創立年月	2021年2月
所在地	東京都港区芝浦3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F
株主	株式会社マネーフォワード(100%)
事業内容	情シス向けのSaaS/デバイス管理サービス マネーフォワードAdminaの開発・提供





CEO
今井 義人

2009年: Apple Japan
2012年: ミール株式会社(プロダクトマネージャー)
2015年: 株式会社マネーフォワード
マネーフォワードクラウド経費 本部長就任
2021年: マネーフォワード i の代表取締役就任



取締役/CPO
村上 勝俊

新卒からインフラ開発運用保守、PMを担当
社内開発プラットフォームの運用整備やクラウド導入
支援、クラウド利用ポリシーの整備を実施
2019年: 関西開発拠点長に就任し京都へ移住
2020年: 本事業を企画立案
2021年: 社内起業し、マネーフォワード i を創業



取締役
中出 匠哉

2001年: ジュピターショップチャンネル
注文管理・CRMシステムの開発・保守・運用を統括
2007年: シンプレクス株式会社
証券会社向け株式トレーディングシステムの開発・保
守・運用に注力。FXディーリングシステムのアーキテ
クト兼プロダクトマネージャーとして開発を統括
2015年: 株式会社マネーフォワード
Financialシステムの開発に従事。
2016年: CTOに就任

お問い合わせ



bizdev@i.moneyforward.com